



# THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズメンズクラブ  
"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

## MOTTOES (2017-2018)

国際会長主題：“Let Us Walk in the Light - Together” 「ともに、光の中に歩もう」

アジア会長主題：“Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事主題：“Healthy mind &amp; healthy body make healthy club” 「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」

中西部部長主題：「未来には希望がある」 “Hope for the Future”

クラブ会長主題：「クラブのみんなと共に輝こう！」

## Monthly Bulletin

第 257 号

2018 年 6 月

聖書のことば  
「互いに愛し合いなさい。  
これが私の命令である」  
(ヨハネによる福音書 15 章 17 節)  
選者 保田 圭子

## 6月第1例会プログラム

日時：2017年6月13日（水）18:30～20:30  
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会 武井 和子

吉岡香代子会長

1. 開会点鐘
2. ワイズソング
3. 聖句朗誦
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 連絡・報告・ニュース
6. 食前感謝＆食事
7. 卓話  
**「キャンプの素晴らしさ」**  
**阪田 晃一さん**（神戸YMCAスタッフ）
8. お誕生祝い
9. ニコニコ献金
10. YMCA の歌
11. 閉会点鐘

ドライバー

吉岡香代子会長

例会当番 (D)

受付当番 (C)

## “なかのしま1日研修会”に参加して

瀬島 恵子

4月28日お天気にも恵まれて、ホテルグランヴィア大阪で恒例のなかのしま一日研修会が開かれました。私はちょっと出かけたい予定があり思案していましたが、杉浦さんから参加するように声をかけられ思わず出席の返事をしてしました。

会は10時半から始まり、最初に江見さんによる簡単な礼拝(?)があり、「インマヌエル（神は我々と共におられる）」という言葉を印象深く聞きました。その後バトンを吉岡会長に渡され、話し合い1、1年の振り返りです。いつもの例会の雰囲気ではなく昨年は新人メンバーとして、今年もまだ未熟の中で、私も一年を少し振り返る時としました。

午後からは、次期会長國友さんが会長主題、会長方針を発表され、皆で次年度の計画案を話し合いました。そんな中で、これからの中のしまの事業として「ミャンマーでの医療支援」が上がりいました。

と言っても私は今回も参加するに意義あり精神で出席していましたので、皆さんの様にテキパキと応答するとななく2回目の研修会を終えました。20年選手と2年生では「その差も歴然」と、一人思いを巡らせています。まだまだ未熟で何の働きも出来ないで居る私ですが、何時かメンバーの一員としての働きができる様な仲間になりたいと思っています。今回の研修会を経験して一人一人が前向きで人の為に働くことが当たり前になっている姿を見ることが出来ました。言葉でなく、格好でなく、私も改めて、一人の仲間になりたいともいました。



5月統計		4月修正	
第1例会出席者数	例会出席率		
メンバー 11名	出席者 11名	出席者 14名	
ビジター 0名	マイキャップ 4名	マイキャップ 3名	
ゲスト 1名	合 計 15名	合 計 17名	
コメント 1名	在籍者 20名	在籍者 20名	
合 計 13名	出席率 75%	出席率 85%	

5月はBFの収集はありませんでした。

5月例会報告

初夏の散策！

今井 利子

心配した雨も降らず散歩に好適な5月19日（土）、堺宿院の「利晶の杜」で5月例会を持った。天王寺駅近くで集合、宿院で待つ私を含めて13名は徒歩1分の「さかい利晶の杜」の会場に入館。真新しいガラス張りの記念館に入ってすぐ、古い堺の街のパノラマが目を引く。瓦屋根の並ぶ街筋、環濠を巡らせた自治団の威厳が想像される。



1階は、茶の湯体験施設の示すように、千利休の茶の湯館、千利休の生涯を3つのコーナーに分け、茶の湯「わび茶」を極めて一生を終えるまでの歴史を彷彿と思い浮かべる。2階は、もう一

大岸 弘子

2018年5月12日(土) 大阪YMCA国際文化センター  
ホールに於いて大阪センティアルクラブ・大阪なかのしまクラブ  
共同開催ファミリーコンサートが開かれました。

出演者はオペラ歌手角地・中井夫妻、ピアノ樋口さん、ヴァイオリニスト山之内さんです。舞台すぐ前フロアに今年はグレー色シートが敷かれ、幼児、小学生、ベビーにお母さん方が続々と集まり昨年より賑やかのようです。

「チャルダッシュ」で始まり、次々とオペラの曲目に分かれ易い解説がありました。子供たちのマナーも会場に響きました。

2部では発声法を体験し「第九」を全員で「ラ・ラ・ラ」で歌い“歓喜の合唱”です。客席でのヴァイオリン「愛のあいさつ」も親しみやすくライブの良さでしょう。鍵盤楽器のレクチャー演奏やリズム体験「ボレロ」も樂しくて退屈

人の堺の誇りとする「与謝野晶子記念館」。情熱の詩人であり、作家であり、何より、その溢れんばかりの熱い思いで評論活動を行った人の明治の女性の思いがひしひし迫ってくる。

共に堺の人達の誇りとする歴史上の人物の昔を胸に、待望の昼食会場、美々卯堺店に・・・。定食ながら最後に美味しいうどん、デザートを頂きご馳走さま。

午後は少し歩いて南宗寺へ。国指定の甘露門（通らなかつたが）、ガイドさんの案内コースに従って、千利休一門の供養塔。伝説の徳川家康の墓や（東照宮へ通じる）唐門には指定の古い姿が残っていた。枯山水の石庭や水琴窟では筒を耳に確かめながら、30分コースのガイドさんの説明に感謝しつつ見学会を終える。

南宗寺で5月例会を終了し、解散した。それぞれ堺の歴史に触れ、感銘の一日であった。珍しい路面電車阪堺線で、街並を車窓近くに眺めながら、大和川の橋をゆっくり渡り、住吉大社の太鼓橋、そしてハルカスの超高層の街天王寺駅到着、帰路に着く。楽しい散策の5月例会に満ち足りた1日は感謝であった。



## ギルグさんを囲む会

7 年前にアメリカに帰国されたなかのしまクラブ元メンバーのオードリ・ギルグさんが、2 度目の来日をされました。5 月 16 日（水）12 時から歓迎の食事をもちました。ギルグさんの宿泊する千里阪急ホテルの 2 階にある和食の店「つる家」で総勢 16 名が懐かしいギルグさんを囲みました。

ギルグさんは、元気に 11 時間半のフライトをこなし、待



ち受ける面々の用意するスケジュールをこなしています。関わった人を大切にしてこられた賜物でしよう。7年前に帰国してからの生活を聞きまし

江見 淑子

た。ホームで、合唱グループを作り指導しています。平均年齢 88.6 歳の運営には苦労もありながら、持ち前の前向きなあり方に、多くの協力者を得てコンサートを重ねて・・と、「流石」ですね。

申し分ない五月晴れの中庭で記念写真をとりました。なんと2年後?の再会を約束もしました。私たちこそ元気でいなくては・・・。毎夜、疲れが飛んで行ってしまうよう呪文をとなえました。ギルグさん、太平洋を越えてきてくださり、ありがとうございました。離れていてもなかのしまはいつも一緒にです。これからも神様のお守りが豊かでありますよう祈り願い、散会しました。

## Y's コメントから Y's メンへ 【6】

藤好 基子

父は東京クラブから大阪クラブへ。再び東京に移り東京クラブメンバーになり、1975年日本人初の国際会長となり、熱海で国際大会を日本中のメンバーに支えられ開催いたしました。その年に結婚した私は夫と熱海に行き大会の熱気に触れたことを覚えています。父の会長主題は "Encounter on the Y's Men's Road" です。「ワイスメンの途上における出会い」ということです。センテニアルクラブの谷川メンは「『ワイスメンになると多くの人々との出会いがあり、これを大切にしよう』という意味と理解した」と2005年2月のセンテニアルクラブのプリテンに書いてくださいました。

父母が私にも「素晴らしい出会いを！」とワイスメンになるように勧めてくれたのは、次男が高校生になった年でした。折しも大阪センテニアルメンバーだった杉浦真喜子さんが日本最初の女性クラブを立ち上げようと奮闘なさっている時期でした。一度も就職したこともないまま結婚し、平凡な主婦の私に父は「今だよ」と声をかけ後押ししてくれました。（母は少し不安もあったようです）家族の理解を得ていても、主婦が夕方から例会に行くのは大変でした。男のメンは「今夜は例会だからご飯いらないよ、遅くなる」で済むことも、私は夕方までに家事を全て終えてからでないと出かけることは出来ませんでした。段々に手抜きも見え、家族の理解も深まり（半分あきらめ？）、21年目となった今では「今夜は遅くなります」と言って堂々と例会に。部会、区大会にも出掛けています（笑）

ワイスのこと、クラブのこと、委員のことでの父に助言を求める時には真剣に答えてくれました。どんな時も、家族に対してだけでなく誰に対しても真摯な態度で接する父の姿はなかなか真似が出来ませんが「そうありたい」と思っています。大阪なかのしまのメンバーとなって、様々な人々に出会いました。あのまま家庭だけにいたら出会えなかった人ばかりです。大阪なかのしまのメンバーは勿論のこと、多くのワイスメンに出会いがあつて、今の私があるってことで、皆さま、ありがとう！（両親の敷いたレールにまんまと乗っちゃったということですね！）



## 土佐堀クラブ特別例会に参加して

吉岡香代子

4月21日（土）午後6時から大阪土佐堀クラブの4月例会に参加しました。

私は久しぶりの他クラブ訪問でした。この日は第4回中西部評議会があり、その後の流れの会でしたので参加がしやすかったです。会長の福島真一さんの開会宣言・点鐘から始まり、例会の順序で進み、食事をいただき、久しぶりの中西部のメンバーと歓談も出来ました。

次に奥田時夫さんが、ミャンマーモガウン YMCA（ミッチーナ YMCA の近く）が支援活動をされているエイズ孤児

## 「YMCAは私」 No12

山佐 亜津子

YMCAの正職員としては、定年まで残すところあと僅か5年となりました。その短い時間にやるべき仕事の量と内容は、私にとっては気が遠くなりそうなものです。形にしなければならないこと、また形ではなく、YMCAで想いと願いを後進のスタッフが大きく膨らませ、YMCAでより一層豊かに強く歩んでくれること、YMCAを愛してくれるボランティアをたくさん育むスタッフが育つこと、のために私がシニアスタッフとして見せられる在り方であること。自分自身に問うべきことは尽きません。問い合わせている間にすぐに5年が経ちそうで、実はとても焦り、また緊張もしている日々なのです。

一方、ワイスメンとしてはまだ3才のひよこです。職場では今やすやすに自分よりも年上の女性は限られていて、後輩から見られるばかりの立場です。しかしワイス、特になかのしまでは、それぞれが色々な賜物や時間やお金などを純粋に社会奉仕のために用い、活き活きと輝いている先輩メンバーたちばかりです。ご苦労も含めた色々な背景を彩りに変え、優しくしなやかに生きる女性として、私にとって尊敬と憧れの、見上げることのできる人生の先輩たちがいる場がなかのしまワイスなのです。スタッフであると同時にワイスメンであることは、YMCAとそれを支えるワイスのブリッジの役割を担うことです。しかし私個人にとっての意味はそれだけではなく、人に對して細やかな心遣いと大らかな受け止めをされる先輩たちを見ていて、これから先どんな自分でいたいのか、いつまでも女性として、人として、自分を磨いて行きたいと、そのように思い、学べることが、ワイスメンでいることの私にとっての意味なのです。

職員としては定年を迎えた後も、ワイスはYMCA運動を支えるひとつ的方法ですし、また色々な人と繋がりを持てるのもワイスです。定年のないワイスで、素敵な仲間と共に豊かに年を重ねて行くことを楽しみたいと思う今日この頃です。

= お知らせ =

- ◎ オードリ・ギルグさんより郵送用切手及び BF 用使用済み切手を頂きました。
- ◎ 平松純子さんより切手費用としてご寄付を頂きました。  
共に感謝です。

達の施設を訪問した時の様子を、プロジェクトで紹介されました。この活動は毎年されているとのこと。

そして、PretoPlato (プレト プラト アコ-スイック) のギターとチエロそしてボーカルのグループのライブで楽しみました。ボサノヴァやブラジルの歌、南米各地のコンテンポラリー音楽、日本の古き歌などでその場は大いに盛り上がりいました。

女性クラブのなかのしまクラブの例会とは違って、当たり前のことですが男性が多くて活気溢れる会でした。なかのしまクラブからは4人が参加しました。

ニコニコ献金 5月 14、750円

〈ニコニコメッセージ〉— 5月例会 —

☆遠足へのお誘いを保田さんから頂き楽しみにしていました。  
「利晶の杜」も良かったです。感謝しています。

(安岡久美子)

☆たのしい企画に参加できて嬉しかったです。古い町堀も新しく発展しましたが、千利休や与謝野晶子の行跡を振り返りながら、昼をゆっくり楽しみ任せな一日でした。(今井)  
☆お天気に恵まれて、野外例会を楽しむことが出来感謝です。

(大岸)

☆いつもと違った遠足例会は、さわやかな天気でとても気持ちよかったです。

(大橋)

☆雨にも会わず、堀の街を楽しみました。チンチン電車も楽しかった！大満足のなかのしま遠足例会でしたね。(杉浦)

☆久し振りの天王寺。その上今迄に来た事のない堀の町、色々な処見学出来ました。

(瀬島)

☆空港ヘギルグ先生を迎えてきました。美帆を見つけられて「あら美帆サン」と声をかけて下さって嬉しかった。娘の事を心に留めて下さり、梅花学園で学んだ神さまの恵みに改めて感謝です。

(武井和子)

☆ギルグさんを空港までむかえにいきました。(武井美帆)

☆暑くなく寒くなくステキな遠足びよりでした。

(鳥居)

☆昨夜大雨心配しましたが、今日は雨もあがりました。阪堺電車に乗り「さかい利晶の杜」へ、美々卵のおうどんもおいしく楽しい一日でした。

(藤井)

☆堀は古い歴史の町。めずらしい遠足例会でした。毎回ありがとうございます。

(保田)

☆街中を走る阪堺電車の停留処が懐かしかった。昔、兄の家族が住んでいたのはここだったなあ・・！天候に恵まれ楽しい野外例会でした。大岸さんの下調べに感謝！感謝！

(吉岡)

☆ 400 年前と 100 年前の堀に思いを馳せていました。  
1185 年平家滅亡前に、西国へ逃れた安徳天皇と建礼門院が通った、と言われている街道そばに住んでいます。  
歴史は面白い。

(吉田)

欠席者メッセージ

☆最近は利休の茶道とキリスト教との関係が言われるようになりました。そんな関係も見てきてほしいと思いました。

(江見)

☆あわや大惨事になりそうなエスカレーター事故にあいました。落ちてきたご婦人は「ありがとう」を残してさっさと行かれ、私は負傷！ただでさえ具合の悪い右手が痛い痛になりました。皆さん、エスカレーターで海外旅行用の大きなトランクを持った人の後ろに乗るのはご用心！あ～痛い！

(藤好)

☆今月はスペイン旅行でお休みさせていただきました。コスタ・デル・ソルの白い村ミハスの美しい家並みに魅了されました。

(生雲)

☆1年1回のミニ同窓会、夕食と翌日の昼食を楽しみ、新幹線の時間がくるまでJR京都駅の大階段でプラスバンドを

たっぷりと。プラスはいいですねー、元気が出ます。吹きぬける風も心地よく。

(國友)

YMCA ニュース

★第302回早天祈祷会記念★

日時…2018年6月15日(金) 7:30~8:30  
証し…末岡 祥弘さん(大阪YMCA 前総主事、学校法人  
大阪YMCA 理事長)  
場所…大阪YMCA会館 10階チャペル

★大阪YMCA創立記念礼拝・Yボランティア研修会★

日時…2018年6月2日(土) 10:00~12:30  
場所…大阪YMCA会館 9階903号室

第1部 大阪YMCA創立記念礼拝 (10:00~10:45)  
奨励…山口 恒 牧師(日本基督教団浪花教会)

第2部 Yボランティア研修会 (10:50~12:30)

①基調講演 「大阪YMCAの目指す方向性について」  
～ポジティブネットのある豊かな社会の創造～  
大阪YMCA 総主事 小川 健一郎

②分団討議

③発表

梅雨の季節になりました。ことわざに「晴耕雨読」とあるように雨の日はゆっくりと部屋で読書を楽しむのもいいですね。とはいもののワズ活動は忙しくそれも無理かもしれませんね。

(大橋 昌美)

4月第2例会報告抄

日時：2018年4月28日(木) 17:30 ~ 19:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

出席者：16名

1. なかのしまクラブ 5月第1例会 “文学散歩”について、行程等の説明があった。
2. 5月12日に開催されるファミリーコンサートの役割分担を確認した。
3. 江見さんより、オードリー・ギルグさん来日の日程・歓迎会について説明があった。

5月第2例会報告抄

日時：2018年5月16日(木) 18:30~20:00

場所：大阪YMCA 502号室

出席者：13名

1. 「うなぎの森」植樹祭(5/20)の詳細、参加者について確認された。
2. 次年度例会プログラムについて、概要の説明が次期プログラム委員よりあった。

◇6月お誕生日の方◇ Happy Birthday

渡辺 宏子 5日 吉岡 香代子 6日

編集後記

今期最後のプリテンです。桑原さんから受け継いで1年、何とか形にしてきましたが・・・。次期も引き続いてさせて頂きます。みんなのご協力なしにはできません。どうぞよろしく！